

表 2 - 6 - 1 内分泌かく乱化学物質と甲状腺癌に関するコホート研究

地域・対象者	対象者数	追跡期間	化合物	検討された交絡要因	カテゴリー毎の相対危険度、SMR/SIRなど				
					1	2	3	4	P trend
<p>Saracci R, 1991 オーストラリア、オーストリア、カナダ、デンマーク、フィンランド、イタリア、オランダ、ニュージーランド、スウェーデン、英国の複数のコホートを使用。後ろ向き研究</p>	<p>18390名 (16863男性、1527女性) 暴露群13482、 たぶん暴露群416、 非暴露群3951、 不明群541名</p>	<p>1955-1988 (各コホートにより異なる)</p>	<p>クロロフェノキシ 除草剤 (2,4-T、 2,4,5-T、 2,4,5-TCP、 2,4,6-TCP、 2,4-DCP、 2,4-DP、2,4-DB、 2,3,4,6-TeCP、 MCPA、MCPB、 MCPB、PCP、 PBA)</p>		<p>SMR (95%CI) (観察死亡数) 暴露群：367 (100-940) (4) たぶん暴露群：0 (0-12296) (0) 非暴露群：0 (0-1230) (0) 不明群：0 (0-18444) (0)</p>				
<p>Strohsnitter, 2001 米国の4つのコホート (Mayo Clinic cohort, Dieckmann cohort, Women's Health Study cohort, Home cohort)</p>	<p>3613名 (暴露群1709、 非暴露群1904)</p>	<p>1978-1994年</p>	<p>DES</p>	<p>フォローアップ期間、 フォロー開始時年齢、 出生時の母親年齢、 死亡率、人種、教育、 母親乳癌歴、 停留嚢丸、 出生順序、 出生時体重、 母親の出産前の出血、 喫煙、飲酒 (以上を考慮)</p>		<p>SIR 暴露群2.27 (0.27-8.18) 非暴露群4.39 (0.89-12.83)</p>			
<p>Titus-Ernstoff, 2001 米国、ボストン Mothers Study cohort (80年代) &amp; Dieckmann Study cohort (50年代)</p>	<p>7560人 (暴露群3844、 非暴露群3716)</p>	<p>1994 までfollow-up</p>	<p>DES</p>	<p>年齢、暦年、 年齢×暦年 (調整) 調査参加時年齢、 年齢、暦年、 BMI、教育、家族歴、 初潮年齢、 経口避妊薬、流産、 最初の出産年齢、 妊娠、閉経年齢、 ホルモン療法、 子宮摘出、喫煙歴 (流産が暴露群で多いなど)</p>	<p>死亡相対危険度 (95%CI) 0.92 (0.60 -1.39)</p>				

表 2 - 6 - 2 内分泌かく乱化学物質と甲状腺癌に関する症例対照研究

地域・対象者数 (症例/対照)	化合物	血清レベルの比較			カテゴリ毎のオッズ比				
		症例	対照	P値	1.00	2	3	4	P trend

該当文献なし

表 2 - 6 - 3 内分泌かく乱化学物質と甲状腺癌に関するエコロジカル研究

地域・対象者数	化合物	血清レベルの比較			カテゴリー毎のオッズ比				
		症例	対照	P値	1(低)	2	3	4(高)	P trend
Grimalt, 1994 スペイン、カタロニア 有機塩素化合物工場の近隣住民 1980-1989年 5003名(男性2531) 大気中HCB濃度は対照地域より約100倍高い	HCB	平均血清HCB濃度 ( non-random sample ) 暴露地域26 µg/L ( 7.5-69 ) 対照地域4.8 µg/L ( 1.5-15 )			SIR (95%CI) 男性6.7 (1.6-28) 女性1.0 (0.14-7.4)				
Schreinemacher, 1999 米国 ミネソタ州の4地域 1980-1989 白人	ethylenebisdithiocarbamates などの除草剤( ? )				SRR (95%CI) ( 都市、森林地域と比較 ) 男性 第一地域：( とうもろこし、大豆地域 ) 0.60 (0.29-1.22) 第二地域：( 小麦、とうもろこし、大豆地域 ) 1.88 (0.69-5.10) 第三地域：( ポテト、小麦、テンサイ地域。除草剤使用が多い ) 2.95 (1.35-6.44) 女性 第一地域： 0.94 (0.61-1.45) 第二地域： 0.44 (0.17-1.15) 第三地域： 1.18 (0.54-2.62)				
Schreinemacher, 2000 米国 白人 クロロフェノキシ除草剤で処理する spring wheat/durum wheatを生産 するミネソタ、ノースダコタ、 サースダコタ、モンタナ州。 計152の郡 1980-1989	クロロフェノキシ除草剤				SRR(95%CI) ( 郡の小麦作付け面積<23000エーカーに対して ) 男性： 23000-110999エーカー; 1.34 (0.58-3.63) 111000エーカー以上; 1.88 (0.76-4.62) 女性： 23000-110999エーカー; 0.78 (0.38-1.62) 111000エーカー以上; 0.93 (0.45-1.90)				